

令和6年第4回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和6年12月3日(火)
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 知事、危機管理監

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>三 特定放射性廃棄物最終処分（核のごみ）等について （二）燃料の搬送の安全等について</p> <p>泊原発3号機の再稼働に向けた原子力規制委員会の審査会合において、津波発生時における輸送船の漂流物化防止対策（緊急退避案）の再検討を求められていた北電は、泊村に新しい港を整備し、新燃料のウランのほか、プルトニウムを含む使用済燃料を陸上輸送する計画を進めている。再稼働の判断を優先し、輸送の安全がなし崩しで再稼働後に決められることがあってはならないと考える。原発は何より安全の確保が最優先とする知事は、再稼働判断前に、搬出・輸送の安全について、北電から説明を求め、規制委員会での議論も求めるべきではないのか。</p> <p>【再質問】</p> <p>泊原発3号機に関し、北電は、燃料の搬出入に関する新たな安全対策が必要だと認識し、対策をとろうとしており、原子力規制委員会も了承している。新たな対策が完了されないうちに、知事が再稼働に同意することはあり得ないかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>【再々質問】</p> <p>現在、北電が検討している対策を踏まえ、緊急時対応や避難計画の修正など、徹底した安全対策を進めるべきではないか。</p>	<p>（危機管理監）</p> <p>泊発電所における燃料等の輸送についてであります。北電は、発電所の安全性を高めるため、燃料等の搬出入については、構外に新たに整備する荷揚場などから発電所まで陸上輸送を行うこととしており、現在、その具体的な内容について、検討を進めていると承知しております。</p> <p>道では、発電に係る安全性を確保していくことが不可欠との認識のもと、北電に対し、陸上輸送に係るリスク対策も含め、講じる安全対策については、原子力規制委員会のもとより、関係機関や、地元をはじめ道民の皆様にご理解いただけるよう、事業者の責務として説明を尽くすことなどを求めてきているところです。</p> <p>こうした道からの要請を踏まえ、北電では、検討状況に応じ、規制委をはじめ、道や関係自治体等に説明するとともに、その内容については、ホームページや広報誌への掲載、地域における説明会の開催など、様々な取組を通じて、道民の皆様の理解が深まるよう、丁寧な情報発信に努めるとしており、道としては、道民の皆様の安全・安心の確保に向け、しっかりと対応していただきたいと考えております。</p> <p>（知事）</p> <p>泊発電所における陸上輸送等についてであります。道では、発電に係る安全性の確保が不可欠と認識しており、まずは、北電において、陸上輸送に係るリスク対策も含め、講じる安全対策について検討を行い、その内容を規制委はもとより、関係機関や道民の皆様にご理解いただけるようしっかりと説明していただきたいと考えております。</p> <p>なお、泊発電所については、現在、規制委における審査が継続中であり、予断をもって申し上げる状況にございません。</p> <p>（知事）</p> <p>泊発電所における防災対策についてであります。道の原子力防災計画では、燃料等の事業所外での輸送中において、事故が発生した場合の対応を定めており、道としては、地域住民の皆様を安全を確保することができるよう、今後の北電の検討状況を踏まえ、緊急時対応や避難計画等の修正も含め、必要な原子力防災対策を検討してまいります。</p>